

山村強靱化林道整備事業 立杉線（石川県加賀市）



＜事業の目的＞

近年、豪雨・台風災害が激甚化・頻発化する中で、持続的な森林経営の実現に向けて強靱で災害に強い幹線林道において早急に整備（開設・改良）を行う。

＜林道立杉線＞

加賀市の重要な防災インフラである九谷ダム上流部に位置する水源林である山中県有林の適正な森林整備を目的として整備された基幹林道であり、県道153号に接続し、山中温泉杉水町集落～山中温泉今立町集落を連絡する災害時のライフラインとして機能する重要な路線としてのり面の脆弱な箇所を法枠工で整備し、通行車両の安全性を確保する。



森林整備状況



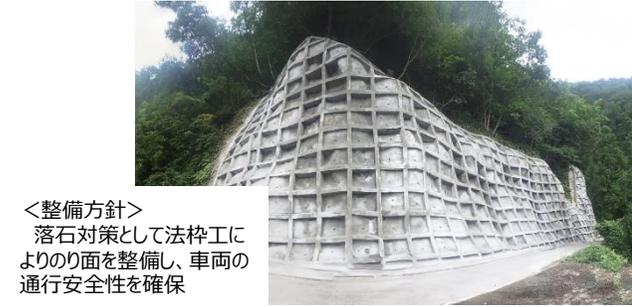
＜被害状況＞
山中県有林において森林経営計画に基づき、計画的に間伐し、車両系システムにより林道立杉線を幹線として効率よく地域の木材生産拠点へ搬出

整備箇所



＜被害状況＞
近年の豪雨等により岩盤の表層剥離による落石被害が頻発し、通行車両の安全性確保が困難な状況

整備後イメージ



＜整備方針＞
落石対策として法枠工によりり面を整備し、車両の通行安全性を確保

山村強靱化林道整備事業

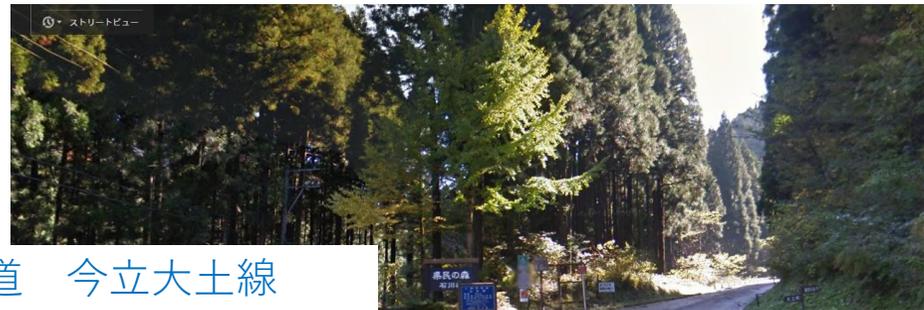
林道立杉線 (石川県)

県道我谷今立塔尾線



< 起点 > 市道今立大土線 (加賀市)

< 終点 > 県道我谷今立塔尾線 (加賀市)



市道 今立大土線

林道 立杉線

終点で公道と接続



緊急時の避難路として

地震災害等による集落の孤立

